

各自で出力まで行ってください。
(出力待ちの確認と対処方法)

a. T S Sセッションによる確認と対処方法

LOGON コマンドでT S Sセッションを開設後 STATUS コマンドで確認します。

```
READY
STATUS
KEQ562111 JOB A79999K#(TSU02290) IS EXECUTING ON THIS TERMINAL ....①
KEQ561921 JOB A79999KA(JOB01836) IS WAITING FOR OUTPUT ....②
KEQ561971 JOB A79999KB(JOB01853) IS WAITING FOR EXECUTION ....③
```

①は自セッションです。②は出力待ちのジョブです。③は実行待ちのジョブです。従って、②③のようなジョブがある場合は出力または消去する必要があります。このようなジョブが翌月に出力されると翌々月に請求されますので注意して下さい。上記の例の場合次のように入力して出力または消去します。③のように実行待ちのジョブは出力できませんので CANCEL コマンドで消去します。

```
READY
OUTPUT A79999KA(JOB01836) NEW(S) ....センターのクローズプリンタへ出力します。
CANCEL A79999KA(JOB01836) PURGE ....出力せずに消去します。
CANCEL A79999KB(JOB01853) PURGE ....実行待ちジョブを消去します。
```

b. L P O U T (プリンタ出力用コンソール) による確認と対処方法

センター2階受付横またはオープン室に設置されたNLP; CLP横のコンソールへ行き、登録番号とパスワードを入力する。ジョブがある場合は“O”(出力)または“D”(消去)を入力する。

4. ジョブの負担金キャンセル

ジョブの負担金キャンセルは、科学研究費による利用で利用期限が1月28日(土)のものは1月31日(火)迄に、利用期限が2月20日(月)のもの及び受託研究費による利用のものは2月22日(水)迄に、当該計算結果を添えて2階受付又はシステム運用掛にキャンセル依頼を行ってください。

なお、連絡所からの利用者で上記期日までにキャンセル依頼が間に合わないと思われる方は、あらかじめシステム運用掛までご連絡ください。

5. 利用負担金の請求

科学研究費による1月分の利用負担金の請求は2月初旬に、2月分は2月末に請求処理を行います。

なお、上記研究による利用での利用負担金は、校費等での振替払いはできませんので利用にあたってはご注意ください。

システムで行っている予算管理では、予算(当初の利用予定金額-実利用金額)が1円でも残っていればセッション、あるいはジョブを受け付けます。従って、結果的に予算オーバーとなる場合がありますので十分ご注意ください。

6. データセットの取扱い

利用期限切れとなった登録番号のデータセットは、利用期限の翌月の8日に消去しますので、必要なデータセットは各自で保存処理を行ってください。

なお、他登録番号（校費課題など）に移行するデータセットはアクセス権の設定が必要です。

M S P のデータセット ADDSD, PERMIT コマンドで他登録番号に ALTER 権（リネームが可能）を与える。

U X P のデータセット 他登録番号でアクセスできるように chmod コマンドで READ 権 r（ディレクトリは検索権 x も）を与える。

（システム運用掛 内線 2517）

2. 平成6年度の利用者旅費について

利用者が直接本センターに出向き計算機を利用する場合は、本センターより旅費（利用者旅費）の支給を受けることができます。

については、今年度の利用者旅費の最終的な執行計画をたてるため、平成7年3月末日までに、旅費の支給を希望される方は、連絡所備え付けの「利用者旅費支給申請書」を下記の提出期限までに、連絡所を経由して本センター共同利用掛に提出してください。

記

提出期限： 平成7年1月20日（金）

注意事項

- ・福岡市内（在勤又は在住）の利用者及び科学研究費等の特別な交付金支弁による利用者は、支給の対象にはなりません。
- ・提出期限は、本センターへの必着日となっています。
- ・出張利用の希望者が多い場合は、出張期間の短縮等を含め、本センターにて調整させていただくことがありますので、予め御了承下さい。
- ・その他出張利用に関して不明な点がございましたら、本センター共同利用掛（TEL:092-641-1101 内線 2505, 2515）までお問い合わせください。

3. 空調機保守作業日の変更のお知らせ

空調機の保守作業日を第1, 3日曜日としておりますが, 平成7年1月は第1日曜日が特別休暇のため第2, 4日曜日に変更します。

(システム運用掛 内線2517)

4. TSSジョブ制限値の訂正について (MSP)

センターニュースNo. 512 (1994. 11. 28発行) でお知らせしましたTSSジョブの制限値で誤りがありましたのでお知らせします。

正 誤 表

	正	誤
端末接続	1435分	1440分

M1800 MSP

(下線は省略値)

適用ジョブ	ジョブクラス	CPU時間	ファイルアクセス	最大ジョブサイズ (SSU)	端末接続	ラインプリンタ		XYプロッタ		図形文字パターン数
						出力枚数	出力行数	紙長	使用時間	
バッチジョブ	標準ジョブ	分1	万回	MB	分	枚	行	m	分	パターン
		<u>10</u>	20							
	B	180	50	6	-	600	36,000	10	60	100,000
	OPEN STATION	N	10							
CLOSED STATION	L	10	20	200 (100)	-	600	36,000	10	60	100,000
大型ジョブ	F	10	50							
TSSジョブ	標準	60	制限	6	1435					
	大型		なし	50						

(システム管理掛 内線2518)

5. 「オンライン・データベース利用ガイド（第14版）」発行のお知らせ

この度「オンライン・データベース利用ガイド（第14版）」が発行されました。

7大学の全国共同利用大型計算機センター及び学術情報センターでは、それぞれデータベースのオンラインサービスを行っており、利用者は交換回線（電話）あるいはコンピュータ・ネットワークなどを介して手近な端末からどのセンターのデータベースでも利用できるようになっていました。この利用ガイドは、各センターのデータベース・サービスの概略と簡単な利用法について解説したものです。ご希望の方は、氏名・身分・登録番号・所属を記入した文書で共同利用掛までお申し込み下さい。

（共同利用掛 内線2515）

6. アンケートへの協力をお願い

九州大学大型計算機センターでは従来より数値計算、統計計算、文書処理、グラフィックスに関係するソフトウェアと周辺機器の整備に努めてきましたが、平成7年度に予定されている汎用機システムの入替にあわせてさらなる拡充を考えています。

現在の計算機では、パーソナルコンピュータからワークステーション、スーパーコンピュータに至るまで Unix 系の OS が多く使われるようになりました。本センターでも汎用計算機、スーパーコンピュータ、並列計算機それぞれで Unix をサービスしています。加えて Unix を想定したソフトウェアや各種機器が多く出回り、コストパフォーマンスもどんどん向上しています。今後開発、流通するハードウェア、ソフトウェアは Unix との連携を前提としたものになっています。

九州大学大型計算機センターでは、このような状況の中で Unix 環境を大幅に整備拡張することを検討しています。つきましては、以下のアンケートにお答えいただき、ユーザの理想とするソフトウェア環境に近付けるための参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本アンケートは本センターまで郵送または FAX で直接お送りいただくか、電子メールで下記のアドレスまでお送りいただくようお願い致します。なお、電子メールでお出しになる場合はアンケートのフォームを /usr/local/doc/questionnair.tex においておきますので御利用ください。

九州大学大型計算機センター 〒812 福岡市東区箱崎 6-10-1 研究開発部 佐藤周行 FAX: 092-631-3196 E-MAIL: e70019c@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

アンケート

現在の研究分野について

1. 現在の研究分野はなんですか。
2. 1. でお答えいただいた研究分野と計算機との関わりについて、差し支えない範囲でお答えください。
3. 現在研究のためにお使いの主要なソフトウェアについて差し支えない範囲でお答えください(本センター提供のソフトウェア以外でも結構です)。

本センターへのアクセス環境について

1. 本センターの計算機システムを利用する場合に何を経由しているかお答えください。
 - (a) LAN
 - (b) 電話回線
 - (c) 専用回線
 - (d) その他
2. お手持ちの計算機と本センターの計算機システムの連携について教えてください。
 - (a) 手元の計算機を大型計算機センターの端末として利用している。
 - (b) 普段は手元の計算機で仕事をし、大きな仕事だけ大型計算機センターを利用している。
 - (c) 大型計算機センターはあまり利用していない。
 - (d) その他

現在の本センターのソフトウェアの整備状況について

現在、本センターでは Fortran と C を中心にした言語プロセッサ、さらに数値計算を中心としたライブラリ、種々のアプリケーションソフトウェアを提供しています。

以下、本センター上のソフトウェアについてお答えください。

1. 言語処理系についてお答えください。
 - (a) 使用言語と使用 OS を教えてください。複数でも結構です。
 - (b) プログラムを他の計算機環境に、またはそこから移植するのに困難を感じたことがありますか? あれば、どういう点で困難だったのかお答えください。

(c) 導入を希望する言語処理系があれば以下に記してください。

2. ライブラリパッケージについてお答えください。

(a) ライブラリパッケージを利用したことがありますか。もしあれば使用した経験のあるパッケージを教えてください(例: NUMPAC, Xt)。

(b) プログラムを他の計算機環境に、またはそこから移植するのにライブラリがない、機能が制限されているなどの原因で困難を感じたことがありますか? あれば、どのような点で困難だったのかお答えください。

(c) 導入を希望するライブラリパッケージがあれば以下に記してください。

3. グラフィックスのためのソフトウェアについてお答えください。

(a) グラフィックスソフトウェアを利用したことがありますか。もしあれば使用した経験のあるソフトウェアを教えてください(例: GRAPHMAN)。

(b) 他の計算機環境にはあり、本センターではサービスしていないグラフィックスソフトウェアのうち、サービスしていないことが致命的と思われるものを教えてください。複数でも結構です。

(c) 導入を希望するパッケージやグラフィックス端末、カラープリンタやスキャナなどグラフィックスのための周辺機器があれば以下に記してください。

4. アプリケーションソフトウェアについてお答えください。

(a) アプリケーションソフトウェアを利用したことがありますか。もしあれば使用した経験のあるアプリケーションソフトウェアを教えてください(例: Mathematica)。

(b) 他の計算機環境にはあり、本センターではサービスしていないアプリケーションソフトウェアのうち、サービスしていないことが致命的と思われるものを教えてください。

複数でも結構です。

- (c) 導入を希望するアプリケーションパッケージがあれば以下に記してください。流体解析パッケージなど、分野を記すだけでも構いません。

5. データベースについてお答えください。

- (a) 本センターの情報検索システムを利用したことがありますか。もしあれば、データベースの種類をお答えください (例: INSPECA)。
- (b) データベースの種類の特充をお望みですか。もしそうならば、希望する分野をあげてください。
- (c) 個人用のデータベースを構築するためのデータベース管理システムの導入を希望しますか。

6. 特に本センターのメインフレーム上の Unix システム UXP についてお答えください。

- (a) UXP を使ったことがありますか。 (Yes/No)
- (b) 上で Yes とお答えいただいたかたに質問します。使用感はどうだったでしょうか。
- i. 快適である。
 - ii. 制限がきつくて不便である。
 - iii. 手元の Unix システムと操作感が異なり、使いづらい。
 - iv. その他
- (c) パブリックドメインソフトウェアの整備状況はどうでしょうか。下記から選んでお答えください。
- i. 十分である。
 - ii. 十分とはいえないが、支障ない。
 - iii. 不十分であり、研究上支障を来している。
 - iv. その他
- (d) 上記で「不十分」とお答えした方に伺います。不足していると感じられたソフトウェアを具体的にあげてください。複数でも結構です。

- (e) Unix の世界ではネットワークを通じたサービスが利用可能です。その中には端末接続のための TELNET やファイル転送のための FTP 、ファイル共有のための NFS の他にバッチを投入するための NQS やリモートのプリンタに印刷するためのサービスなどが含まれています。今後、サービスを希望するネットワークサービスがあれば以下に記してください。「バッチを投入する」などの抽象的な表現で結構です。

その他

もし差し支えなければ、連絡先を以下に記してください。

- 連絡先 (学科など)
- 電話番号など
- E-Mail アドレスなど
- お名前

御協力ありがとうございました。